

信楽学園

ニュースレター

Newsletter

from Shigaraki Gakuen



Vol. 1

AUTUMN~WINTER
2013



CONTENTS

■25年度「祝・ご入園」

P1・ごあいさつ

P2・新入園生を迎えて～神山寮

P2-3・1年生の想い

■イベントレポート・「お茶会」

■学園フレッシュさん・P2

■地域の皆様から

P3・信楽学園園生さんと共に歩んで

P3・地域に根ざした消防団活動

■今日のイチ押し！

P3・「汽車土瓶、海を渡る」

■学園の一日・年間行事予定・P4

■物品受領簿・編集後記・P4

夢と希望を育む学園に！



卒園後の進路は県下の企業様の温かい支援により多くの子どもたちが一般就労していくことは変わっていません。

学園の子どもたちが企業就労に向かっていけるのは「働く力」を身につけることだけでなく、「生きる力」を身につけることが重要だと考えてきました。

今年度は心理担当職員を置き、子ども家庭相談センターなどと連携をした性教育プログラムや学習活動など、新しい取り組みを進めています。

「生きる力」を身につけるために何が必要になるのか、学園の職員で議論してきましたが、それは「夢や希望」を持てる力と考えています。昨年、ある有名運送会社に就職したAくんは、学園での作業や就労に向けた実習ではいくつかの課題があり、就労出来るか心配していました。しかし、日頃からはトラック運転手に憧れ、職員はいつも、彼の話を叶うわけがないとは思わず「夢が実現したら良いね」とその心の声に耳を傾けてきました。そして、チャンスはやってきたのです。日頃から真面目に仕事に取り組む彼でしたが、就職試験では筆記テストもあり、少し大丈夫かなあと心配しました。けれども、見事「採用！」試験のテーマが「僕の夢」だったからです。

これからも「夢と希望をはぐくむ」学園でありたいと思います。

信楽学園園長 山田 宗寛

25年度「祝・ご入園」

ごあいさつ

今年度は新入園児14人を迎え入れました。入園式では希望に胸をふくらませ、やや緊張しつつも、はつらつとした表情で入場し、学園生活がスタートしました。総勢49人の学園園生です。(平成25年8月現在)

さて、信楽学園は「一般就労を目指す後期中等教育期(15歳から18歳)の知的障害児」を対象として来ました。日中は工

場での陶器作業や地域の企業で働き、夜は三つの寮(神山・山手・朝日)で生活しています。それぞれの寮は二人部屋で、先輩と後輩の学び合いを大切にしてきました。しかし、昨今では様々な事情を抱えた子どもたちが入園するようになってきました。そのために、就労支援の前段階の様々な教育プログラムの充実が求められるようになっています。

今年度からは、今まで使っていなかった空間(第三工場)を、学習スペースとして「学び」のプログラムを実施しています。

また、発達障害や様々な生活環境で暮ら

してきた子どもたちにとって、個別の空間も必要になります。実際の支援上ではゆったりと過ごせる空間や場所がないことでの子どもたちのストレスやトラブルが頻発している現状もあります。そのために定員は満ちていないのですが、実質的には満杯に近い状況があります。

私たちは「働けるようになる」ことが目的ではなく、「働いて自分らしく生きれること」が自立の姿と考えています。信楽での3年間は学びの時であり、あくまでも「自分らしく地域で生きれること」が目標です。

神山寮

新入園生を迎えて

今年度、12名の新入園生を迎え、神山寮は23名でスタートしました。12名の新入園生にとってはおそらく初めてとなる親元を離れての生活で、不安や緊張が多いにあったと思います。そんな中でも「卒園後は自立したい」といった目標を持って、信楽学園に来て頂いた園生が多いことをすごく嬉しく思います。



家に帰られた時はどんな話をされているのでしょうか？友人とのこと、工場でのこと…いろいろ話をしているのだと思います。まだまだ日が浅いので、週末に残留している園生を見ると、嫌なことよりも「楽しい」と感じてくれていれる方が多いのかもしれないね。



特に2年目、3年目の園生が学園生活の過ごし方を先輩として、時には友人として教えてくれているのが大きいと思っています。

今後こういった先輩、後輩の関係を大事にしていってもらえたら…と毎年願いつつなんですが、生活に慣れてくると、ついつい自分の都合を相手に押し付けてしまって喧嘩になったり、イライラして物を壊してしまったりと、いろいろな気持ちや感情のぶつかり合いが出てきます。

ある程度の感情の起伏は、人間が成長する上でも大切であるとの思いもあり、職員は日々園生らの言動を見守ったり、話し掛けては気持ちの整理の手伝いをするなどして上手く表現できるよう時間をかけて取り組んでいます。

寮長 柚木 将敬



信楽学園に来て思ったことは、での先輩も優しいところと、気の合うところです。頑張りたいことは、頼りになる先輩になりたいです。

1年生

入園式では唐く緊張しました。工場では難しい箸置きを作るのですが、唐く難しくてビビが入ったりしてイライラしていました。でもだんだんと慣れてきて、最近ではきれいに作れるようになりました。作業で長い時間立っていられるようになり、力がついたり本当に信楽学園で3年間頑張ったら、もの唐く力がついて将来その力が必ず役に立つと思えました。辛いこともあるけど頑張っていきたいです。

イベントレポート

「お茶会(女子会)」 やっています

毎月1回、ボランティアさんが茶道のお点前・作法を1年間かけて教えてくださいます。長時間の正座で痛い思いもありますが、とても穏やかな雰囲気の中、行われます。



その集大成が、3月の山手寮「ひな祭り」です。

ふだん立入禁止の女子寮へ、男子児童や職員もお誘いして、着物に着替えて、キレイなひな人形、美味しい茶菓子とお抹茶でお迎えします。

(村田 重子)



学園フレッシュさん

信楽学園に入社して1年が過ぎました。丁度、演劇発表会に向けての練習が始まった時期で、職員と児童が共に悩み、苦戦しながらも本番に向けて完成させていく子ども達の一生懸命な姿を見て、戸惑いながらも何度も感動したことを覚えています。

アートと福祉に関わることや、陶芸の仕事をしてきたこともあり、信楽学園でも物づくりを通して、子ども達一人ひとりの良い所を伸ばしてあげられるような支援を心掛けています。



一年はあっという間で、子ども達から教えられることがたくさんあり、また子ども達の成長に感心する事ばかりでした。私自身この一年もまた、成長させてもらえる年になりそうです。

よろしくお願いたします。
(阿久根 沙織)



友達が
もっとできて、
先輩とももっと仲良
になりたい。もっと話せる
ようになりたい。
作業と掃除を
がんばる。

の想い

慣れるまでは
面倒くさいなと思
いました。
慣れると楽しくなっ
てきました。
寮で頑張りたいことは、
早起きが苦手なので
頑張りたいです。
工場で頑張りたいことは、
集中力がないので、
頑張りたいです。

地域の皆様から

信楽学園園生さんと 共に歩んで

株式会社平和堂 信楽店店長 原 聖一

平素は平和堂ならびに信楽店をご愛顧下さり、まことに有り難うございます。従業員を代表いたしまして、厚く御礼申し上げます。

当店では、信楽学園園生さんの就労実習のお手伝いをさせて頂いております。私が当店に着任した2012年2月は、中川加津也君が勤務しており、2013年3月まで共に過ごしてきました。中川君は、毎日真面目にひたむきに、与えられた業務をこなしてくれました。その仕事ぶりは、職場内でもひとりの従業員として、みんなの信頼を得ていました。

中川君の卒園が近づき、就職が決まり内定決定の報告に来た時の、彼の笑顔と職場のみんなが自分のことのように喜んだ笑顔は、忘れられない思い出です。このように、彼は当店で無くてはならない存在として、自分の居場所を獲得していたのですが、それは本人の努力はもちろんのこと、彼を支える信楽学園スタッフ様の存在が大きいと感じました。彼は、情緒的にも体力的にも本当に安定していました。毎日をベストの状態です仕事に臨んでくれました。スタッフの方々の心身両面に渡る行き届いたケアの



信楽では平和堂さんをはじめ多くの企業にご協力いただいております

手厚さを感じていました。スタッフの方々の定期的な情報交換の場でも、肉親と変わらぬ愛情が感じられ、私はそのたびに身が引き締まる思いをしています。

信楽店は現在、障がい者の方を6名雇用しています。これは従業員構成比の約7%にあたり、これは法定雇用率、平和堂会社の平均雇用率を大きく上回る数字です。また6名の方、全員が自分に与えられた責任を果たすため、毎日精一杯の努力をしていただき、当店にとって無くてはならない存在になっています。

私は、信楽店に着任するまでいろいろな店舗で経験を積んできましたが、当店ほど健全者と障がい者が一体となって店舗運営に取り組んでいる店を他に知りません。

それは信楽町全体で、確固たる信念のもと、早くから障がい者福祉に取り組んでこられた成果ではないでしょうか。

私は店舗運営の中で、人の気持ちを変える難しさをいつも痛感しています。やり方や仕組みを変えても、人の気持ちが変わらなければ何も変わりません。今の時代、何も変わらないということは後退を意味します。人の気持ちを変えるには、信念と、熱意と、思いやりと、時間が必要です。

信楽町全体で取り組まれている障がい者福祉の推進は、携わる全ての方々のたゆまぬ努力のおかげで、当店において、健全者と障がい者が当たり前的事として、お互いがひとりの人間として尊重しあう形で花を咲かせています。

地域の皆様から

地域に根ざした 消防団活動

甲賀市消防団信楽方面隊信楽分団第2部

私たち甲賀市消防団信楽方面隊信楽分団第2部は、甲賀市信楽町神山区にある消防団として、総勢24名で地域住民の生命と財産を災害から守るため、防火広報活動や万が一の災害に備えて訓練活動を行っています。

主な活動として、月2回の放水訓練や信楽消防署や信楽分団の他部と連携し行う、より実践に近い緊急想定での火災防御訓練を行っておりますが、「自分たちのまちは、自分たちで守る」という意識のもと、地域と密着した消防団活動として、地域の自主防災組織や地域防災部会と連携した消火器具の取扱い講習会や初期消火訓練を実施するとともに、地域行事にも積極的に参加し、地域の方々とのつながりを深め、連携を強化することで、地域と一体となった防災活動に取り組んでいます。



地域連携活動での重要な訓練のひとつとして、滋賀県立信楽学園との合同訓練も年1回開催しています。信楽学園施設内での火災を想定し、入寮生の避難訓練に併せ、当消防団も施設内にあるプールの水を消防用水として活用し放水訓練を行い、その後初期消火を目的として消防団員が職員の方へ消火栓の取扱いについて説明を行い、実際に放水を行う訓練を実施しています。

消防団としても地域内にある限られた水利資源として、信楽学園内のプール施設を利用し訓練が実施できるとともに、職員の方による初期消火訓練を定期的に行うことは、地域防災においても大変有意義な訓練と考えています。

平成25年度には、甲賀市消防団の代表として、第48回滋賀県消防操法訓練大会(小型ポンプ操法の部)に出場することとなり、現在大会に向け早朝より訓練を行っておりますが、本大会の出場を機にさらに団員が一致団結し、地域における身近な消防防災リーダーとして今後も消防団活動に努めていきたいと思っています。

今日のイチ押し!

「汽車土瓶、海を渡る」

2001年にイチローがシアトルマリナーズに入団する40年も前に海を渡って、シアトルの地を踏んだ5000個の精説、それがmade in 信楽学園の汽車土瓶だったので。

第二次世界大戦後、過酷な収容所時代にも別れを告げ、シアトルにも再び日系社会がよみがえり、活気が戻ってきたこの時代。日系人が持つアイデンティティが再び目覚めた時代でもありました。1960年に日米修好100年を祝って皇太子ご夫妻(現天皇・皇后陛下)がシアトルを訪問されています。移民2世の方々への希望が沸き起こる機会となりました。

そのような中、1世の方々のご郷愁と京都西本願寺派シアトル別院(1951年別院に昇格)から、現地コミュニティの一大イベント「盆踊り」での使用を目的に、「汽車土瓶」の発注が信楽学園に舞い込んだのです。翌年1962年には「宇宙時代の人類」をテーマにシアトル万国博覧会が開催される予定で、アジア、日本の文化にアメリカ国民が興味、関心を示す時代でもありました。



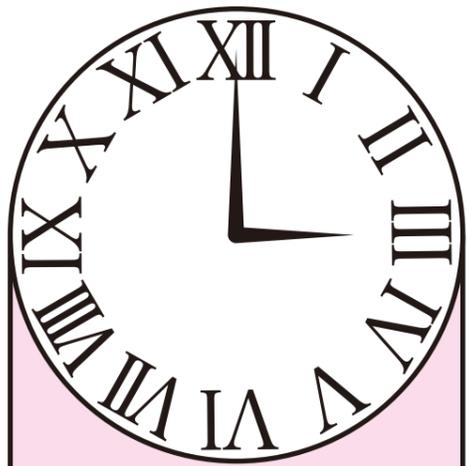
後日になりますが博覧会期間中、日本週間地元シアトルの日系人が中心となって「盆踊り」が会場で開催され、それが全米、欧州へ通信衛星で配信され、歴史的な生中継となるのです。

いろいろな歴史の中で、人々の心を、体を和ませてくれる名脇役「汽車土瓶」は、泥漿鑄造成型による生産を継承する信楽学園で今も作られ、世に送り出されています。学園の汽車土瓶が宇宙を旅する時代もすぐそこかもしれません。(松川 義朗)

「汽車土瓶宇宙を旅する」!?



汽車土瓶
60周年記念バージョン



学園の一日

06:30 起床
 07:00 朝食
 07:45 朝の体操
 08:00 掃除
 09:00 作業
 12:00 昼食
 13:00 作業
 (15:30 学習・体育等)
 16:30 終業
 18:00 夕食
 19:00 入浴
 ホームルーム
 21:00 就寝

年間行事予定

Gakuen annual schedule 2013

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

- 入園式
- 合同避難訓練 (神山消防団)
- 社会見学(2年)
- 演劇発表会
- 創立記念日
- 生産競技会
- 登山活動(1・2年)
- 合同運動会
- 卒園式
- 社会見学(3年)
- プール開き
- 神山地区文化祭
- 修学旅行(3年)
- 神山地区納涼祭
- 生産競技会
- 合同避難訓練(消防署)
- もちつき
- クリスマス忘年会
- ふれあいクリスマス



物品受領簿

前年度(平成24年度)の物品受領明細です。

皆様のあたたかいご厚意に感謝いたします。

受領年月日	物品名	数量	寄贈者(敬称略)
24.04.11	空気清浄機	1台	財河本文教福祉振興会
24.04.19	寄付金	175,000円	信楽学園保護者会
24.04.23	寄付金	30,000円	大津ソナクラブ
24.08.15	菓子	2ケース	KEIZ アビタ 伊賀上野店
24.08.17	缶ジュース30本	2ケース	精 土
24.10.06	うるち米、もち米	30kg×2袋、30kg×1袋	江友会
24.12.05	寄付金	100,000円	信楽町 仏教連合 婦人会
//	タオル	200枚	//
24.12.07	みかん	2ケース	加藤製陶
24.12.07・18	野菜	多数	タキイ研究農場
24.12.14	寄付金	60,000円	TOTO UNION
24.12.19	ケーキ	9個	国際ソロプチミスト甲賀
24.12.21	もち米30kg、みかん2箱	餅つき会のお手伝い	江田、神山区民生児童委員
24.12.25	シュークリーム	45コ	職親会
25.03.15	空気清浄機付加湿器	4台	信楽学園保護者会
	菓子	多数	カルビー イートーク

編集後記

春には、まだ小さかった山の木々も雨風や夏の暑さを乗り越えて、大きく葉をひろげ、力強く伸びています。また、地の中ではしっかりと根を張っていることと、木々を見るたびに元気もらっています。

当学園は地域のみなさんに支えて頂きながら、はや61周年を迎えることができました。時代とともに世の中が変化していますが、同じ志を持ち、職員一丸となってがんばっていきます。今後ともよろしくお願い致します。



Newsletter from Shigaraki Gakuen

ニュースレターをバージョンアップしました!

皆さんに親しみを持ってもらえる学園でありたいと、広報誌を一新しました。より多くの方々に学園を知ってほしいという願いを持っています。これからもどうぞよろしくお願い致します!

信楽学園ニュースレター VOL.1/AUTUMN~WINTER 2013

編集・発行 ■ 滋賀県立 信楽学園
 〒529-1812 滋賀県甲賀市信楽町
 神山470 / ☎0748-82-0051
 ✉ s-gakuen@galaxy.ocn.ne.jp

構成デザイン ■ mdf design